

ウィルクハーンの新ワーキングチェア IN (イン) -三次元のダイナミックな座り心地を秀逸に実現-



2015年7月、ウィルクハーン・ジャパン株式会社（代表取締役 細見 雄希）は、三次元シンクロメカニズムのTrimension(トリメンション)搭載のワーキングチェア「IN」を日本で発表いたします。

ウィルクハーンは、身体を動かさないことで起こる腰痛や代謝の悪化が起りやすいオフィス環境から、より健康的で快適な環境を作る商品開発に取り組んでいます。2009年には、5年の歳月をかけて独自に開発した三次元シンクロメカニズム、トリメンション（Trimension）を搭載したワーキングチェア「ON」を発表しました。身体に不可欠な「動き」を着座時でも制限しないよう、まるで人間の関節のように柔軟な動きをするメカニズムがもたらす、背もたれと座面が身体に追従するような全く新しい感覚は、ワーキングチェアに新時代の到来を予感させるものでした。そして、このたび、トリメンションメカニズムをさらにコンパクトに、シンプルに新解釈した新製品「IN」が登場します。

まるで歩行時の人間の関節のように、前後、左右の動きが組み合わさった回転運動が可能なトリメンションの特性を十分体感できるよう、シートは12°から-5°まで、背もたれは最大28°まで、さらに左右に最大13°まで傾斜する広い可動域を持ち、ユーザーの身体の動きを阻害せず、ダイナミックにサポートします。コンパクトなルックスでありながら、45kgから140kgまでの幅広い体重に対応します。

操作性の快適さ、メンテナンスの容易さ、そして環境への負担軽減は、ウィルクハーンのものづくりに通底する哲学です。INでは、ひとつひとつのパーツに複数の役割を与え、使用するパーツを極限まで減らすことにそのソリューションを求めました。

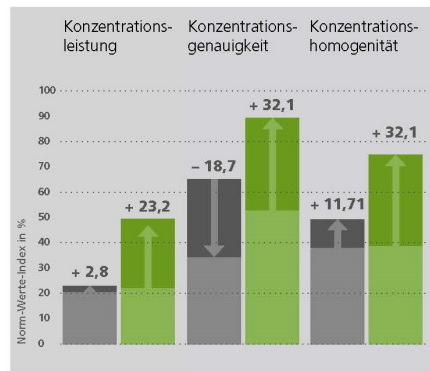
背座を形成する樹脂フレームには、「2-component technology」と呼ばれる、最も画期的な技術が取り入れられました。近年徐々に車のパーツ製造に用いられはじめたこの技術では、高度なコンピュータプログラムによって、場所ごとにグラスファイバーの混合率を変えることができます。この技術によって、ひとつの同じ樹脂素材を一体整形しているにもかかわらず、腰の部分は柔らかくしなやかで、背もたれの垂直部分は硬く強度が高いなど、場所によって柔軟性の違うフレームが実現しました。

背もたれの3Dメッシュは、場所によって織りの密度を変えることのできる特殊な織機を使って作られ、1枚のファブリックで背中それぞれの部位に最適なサポートを提供します。さらに、水分を含むことで膨張する特性を持つ繊維でできており、濡らした状態で張り作業を行い、その後乾かすことで立体的な曲線を描くフレームにフィットさせています。

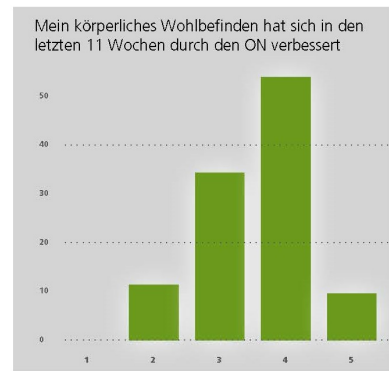
また、そしてトリメンションの中核をなすスプリングは、ONでは2本のばねが用いられたのに対し、INでは1つのばねで3Dの動きをコントロールしています。

日本での発売は2015年秋の予定です。楽しみにお待ちください。

Office for motion – 「動き」のためのオフィス



Entwicklung der Konzentrationsperformance von Kontrollgruppe (grau) mit konventionellen Bürostühlen und Interventionsgruppe (grün) mit dreidimensional beweglichen ON-Stühlen über einen Zeitraum von drei Monaten.



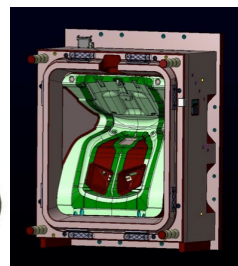
1 = trifft gar nicht zu 5 = trifft voll zu
Quelle: Zentrum für Gesundheit Deutsche Sporthochschule Köln

長年、コックピットのように手を伸ばすだけで何でも必要なものに手が届くオフィスレイアウトや、さまざまな調整を施してまるでコルセットのように身体を固定してしまうチェアではなく、身体を動かすことを自然に促されるオフィス環境とワーキングチェアの重要性を提唱してきたウィルクハーン。研究成果をまとめたドキュメント「office for motion」を読むと、なぜウィルクハーンがトリメンションならびにINを開発したのか、背景がよく理解できる。WEBサイトから日本語版もダウンロード可能。 (<http://www.wilkhahn.co.jp/products/office-for-motion/>)

トリメンション開発



歩行時の人間の関節のような自然な動きを目標としたトリメンションの開発において、もっとも重要視されたのは腰の関節にあたるスイングアームと背座シェルのジョイント部分。最適な接合ポイントを探すため、たくさんの穴のあいたプレートをもつ試作品が作られた。



背座フレームを成型する専用の機械が製作された。

右の写真中央は、場所によるガラスファイバーの混合率の違いをわかりやすくするため、透明のポリアミド樹脂で作られた試作品を手にする、ウィルクハーン・ドイツ CEO ヨハン・ハーネ。

素材



背中部位それぞれに最適なサポートを提供する、場所によって異なる密度で織られた3Dメッシュ。この後水に濡らし、面積を広げて張り作業を行い、乾かしてフレームにフィットさせる。

スプリング



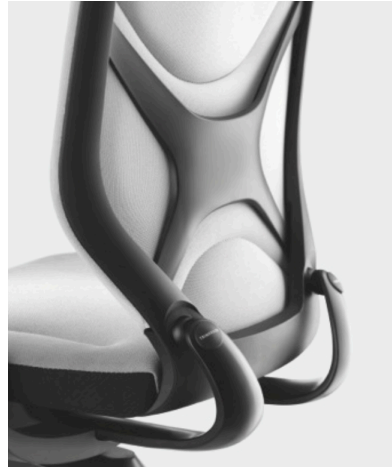
ONのスプリング（写真左）とINのスプリング（写真右）。INではたった1本のばねで、トリメンションの動きをコントロールする。

NeoCon2015 Gold Award



2015年6月にシカゴで行われた北米最大のオフィス家具の見本市「NeoCon2015」において、INはSeating: Ergonomic Desk/Task部門のGold Awardを受賞。2010年度にはONチェアもGold Awardの栄誉に輝いたSeating: Ergonomic Desk/Task部門は、20以上ある部門の中でも注目度が高く、数多くのメディアがINの受賞を世界中に報道した。さらに、全部門の受賞製品から選ばれる総合賞「Best of NeoCon」でも、最終の4候補まで残り、多くの関心を集めた。

Product Information



【Detail】

Design: wiege

Size : W690 D660 H1010-1130 SH400-520mm

メーカー希望小売価格 ¥122,000(予定)-

2015 年秋頃 日本販売開始予定

【Awards】

reddot design award 2015 / ドイツ

NeoCon2015 Gold Award Seating: Ergonomic Desk/Task / アメリカ

German Design Award 2016 Nominee / ドイツ

【Information】

IN Product page (English)

<http://www.wilkhahn.com/en/products/office-swivel-chairs/in-office-chair/>

Life is movement - the idea behind the IN office chair. By Wilkhahn

<https://www.youtube.com/watch?v=yi7XSgJsTO8>

Check IN 3D office chair - the video

<https://www.youtube.com/watch?v=w8hta8Bx I4>

IN - 3D office chair - how to use

<https://www.youtube.com/watch?v=WoRf92K9Kos>

ウィルクハーン・ジャパン株式会社
107-0061 東京都港区北青山 3-3-5 B1
Tel. 03-5414-8088 Fax.03-5414-8089

PR 担当 河西 愛
kasai@wilkhahn.co.jp

www.wilkhahn.co.jp

株式会社 HOW (プレスサポート)
Tel. 03-5414-6405 Fax. 03-5414-6406
小池美紀
info@how-pr.co.jp